

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-386-1081

年度	平成28年度		
施設名	新潟市北区郷土博物館 (分館 横井の丘ふるさと資料館)	所管部・課	北区地域課
施設の設置目的	「新潟市北区郷土博物館」は、博物館法第2条第1項に規定する博物館として、北区の考古、歴史、民俗、美術等に関する資料の収集、保管及び展示、調査研究及びその成果の公開などの事業を通して、市民の教育、芸術及び文化の向上を図ります。 また、分館「横井の丘ふるさと資料館」において、郷土の歴史概要の教育・普及を図ります。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H28.4.1
歳入	313	正職員	2	修正日	
歳出	13,119	非常勤	3	評価日	H29.5.20

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標				
1	市民	入館者の増加	企画展等を実施して入館者数 年間1万人以上 (単位:人)	9,638	9,027	9,065	10,000	9081	・通常の常設展示を拡大して行う特別展示を2回開催。 ・昨年度、2会期にわたって開催した「弦巻松蔭没後20年展」に引き続いて、松蔭の師・上田桑鳩の展覧会を開催。 ・新常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」グランド・オープン ・常設展・拡大企画「新潟市北区の勤皇の志士 遠藤七郎」 ・常設展・拡大企画「昭和のくらし」 ・企画展「書の革新者・上田桑鳩展」 ・(小中学生公募)「松蔭賞書道展」「北区こども科学展」「北区ジュニア絵画展」など	・常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」のグランドオープンを行うとともに、市民ガイドの養成・活用を図った。また、小中学生の利用拡大を図るため学校教職員等を対象に解説会を開催した。 ・常設展・拡大企画として「遠藤七郎展」、企画展として「上田桑鳩展」などを計画どおり開催した。 ・各事業は市報、区報、マスコミ、コミ協だよりで広報をしたが、目標を達成することはできなかった。 ・今後は他機関や各種団体との連携の強化を図るとともに、北区内の学校の「ふるさと学習」における利用拡大を図ると普及活動に努める。 (参考)排煙窓修繕工事のため約1ヵ月間、休館	C:未達成
2	財務	歳入の増加	刊行物の販売収入年間300,000円以上 (単位:円)	236,600	156,850	430,850	300,000	367,900	・「上田桑鳩展」図録の作成と販売を行うとともに、昨年作成した「弦巻松蔭展」の2種の図録も併せて紹介・販売する。 ・市民の高い学習意欲に応えるために『常設展示ガイドブック』を作成する。 ・「上田桑鳩展」図録の作成と販売 ・常設展示ガイドブックの作成と販売 ・ガイドブック『北区のお宝ものがたり』、展覧会図録、豊栄市史などの販売	「上田桑鳩展」図録、「阿賀北と大地と人々のくらし学習ノート」等の作成、販売によって目標を達成することができた。	B:達成
3	業務	市民との協働(講座回数)	ボランティアガイド養成講座開催を年間3回以上 (単位:回)	-	-	-		講座 4回 その他研修等 3回	・北宝隊と連携し、ボランティアガイドによる新常設展示の解説を始め、「北区の歴史と文化」の普及に努める。 ・北宝隊と連携し、参加者を募り、常設展示のボランティアガイド養成講座を開催。	市民ガイド養成講座を開催し、講座修了生が市民ガイドとして活動している。また、活動後、他施設のボランティアとの交流や研修会を開催し、スキルアップを図っている。引き続き市民ガイドのスキルアップを支援し、「北区の歴史と文化」を分りやすく案内できる博物館づくりを図る。	A:達成(優)
4	人材	人材育成	職場内の研修会 年3回以上実施 (単位:回)	3	3	3	3	3	・企画展開催時及び常設展示展示替え時等に、その内容についての研修を行い、情報の共有化を図る。 ・「遠藤七郎展」、「昭和のくらし展」、「上田桑鳩展」の展示概要についての理解を深めるため、職場内研修を開催。	・職員間における情報の共有化とフレキシブルの充実を図った。	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
「北区の歴史と文化」をテーマとした博物館の特色をより一層明確にするため、常設展示のテーマを「阿賀北の大地と人々のくらし」とし、地域のいたちや伝統の理解・共有と、北区の魅力を再発見できるようにリニューアルしました。今年度は、常設展を拡大した企画などで、常設展示の充実を図るとともに、学校の「ふるさと学習」における利用拡大を図るなど普及活動にも取り組んでいきます。	常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」をテーマに、地域の生いたちや伝統の理解・共有と北区の魅力を再発見できるような事業を展開した。事業は北区の歴史と文化を様々な切り口で紹介するとともに、こども博物館等を開催し、様々な区民から参加・見学してもらえよう事業を実施した。また、展示資料の充実を図るだけでなく、市民ガイドを養成し、児童生徒や高齢者等が分かりやすく見学できる博物館づくりに努めた。しかし、結果として約1ヵ月にわたる排煙窓修繕工事の影響もあり、計画入館者数には達成することができなかった。今後は小中学校との情報交換を図るとともに、効果的な情報発信を行うことによりふるさと学習等による博物館利用の拡大を図る。さらに、様々な区民の利用拡大を図るために他機関・各種団体との連携を強化する。